

中学校英語における辞書指導について

Teaching the Use of English-Japanese Dictionaries in Junior High School English Classes

福 田 稔

『中学校学習指導要領解説 外国語編』における辞書指導に関する記述によると、英語学習において辞書は不可欠であり、3年間を通して常に英語学習のために使用することが求められている。しかし、3社の中学校英語教科書における辞書指導の記述を調べてみると、教科書によって大きな違いがあることが分かる。また、大学生への辞書使用に関するアンケート調査から、英語の辞書の使い方を知りたいと感じている割合が多いことが判明した。共通した問題として、辞書使用に関する学びの場が不足していることが挙げられる。この問題を解消するために、本稿では ICT を利用した辞書活用のための補助教材の提供を提案する。

キーワード：辞書指導、英和辞典、学習指導要領、中学校英語、ICT

目 次

- I はじめに
- II 学習指導要領における辞書指導
- III 辞書指導の有無と時期
- IV 内容の相違
- V 大学生へのアンケート調査
- VI 提案
- VII おわりに

I はじめに¹

辞書は(日本語・英語に係らず)語の意味を調べるための図書という認識が一般的である。しかし、近年、特に 2000 年代に入ってから日本国内で出版された学習者向けの英和辞典は、極めて有用な学習の道具へと進化している。例えば、『ウィズダム英和辞典』(三省堂、初版 2003 年発行)と『ユースプログレッシブ英和辞典』(小学館、初版 2004 年発行)は、大規模コーパスを活用した英和辞典である²。また、『レクシス英和辞典』(旺文社、初版 2003 年発行)は、英語母語話者の調査も加えて編纂された英和辞典である。これらの辞書の発行を機に、英語の実態を解き明かし、

学習者が抱く疑問への答えを与える役割も果たす英和辞典が多く出されることになった。

実際のところ、辞書はコストパフォーマンスにおいて極めて優れた図書である。というのも、辞書は一度購入すると、一番長く付き合う図書になるからである。例えば、一度読んで犯人やトリックが分かったミステリー小説を繰り返し読む人は少ないだろう。しかし、辞書は数年に渡って使い続けるのが普通であり、同じ語を何度も調べ直すことも珍しくない。

そこで、学校教育の中で辞書の使い方を学ぶ機会がどのように提供されているか明らかにするために、学習指導要領の関連する記述と中学英語教科書の記述を検討する。また、大学生へのアンケート調査の結果を分析し、今後の辞書指導への課題と提言を示す。

次の第Ⅱ節では、学習指導要領における辞書指導の記述を概観する。第Ⅲ節では、主要な中学英語教科書を取り上げて、辞書指導の記述が中学何年生用の教科書に記載されているか指摘する。教科書によって記述の時期と期間に相違があることが明らかとなる。第Ⅳ節では、辞書指導の記述内容にも教科書によって差があることを指摘する。第Ⅴ節では、辞書使用に関する大学生へのアンケート調査の結果を紹介する。第Ⅵ節では、辞書の使い方、活用の仕方を学ぶための提案をする。そして最後に第Ⅶ節で議論をまとめる。

Ⅱ 学習指導要領における辞書指導

1 学習指導要領の記述

『中学校学習指導要領解説 外国語編』における辞書指導に関する記述は、「第2章 外国語科の目標及び内容」にある「3 指導計画の作成と内容の取扱い」の「(1) 指導計画の作成上の配慮事項」において、次のように記されている³⁾。

(1)

カ 辞書の使い方に慣れ、活用できるようにすること

授業での自己表現活動を自発的に行ったり、家庭での教科書から離れた英語学習などに持続的に取り組んだりする上で、辞書を活用できることは必要不可欠である。

辞書の使い方に慣れさせるためには、生徒が適宜辞書を繰り返し使用し、調べたい単語を辞書を使って自由に調べるということを普段から行わせる必要がある。

なお、辞書指導に関しては、3年間を通して適宜辞書を活用させることが大切である。

最初の段落から、辞書の活用が期待されるは授業と家庭の2つであることがわかる。この2つの学習の場が記されているのは、英語学習が途切れなく行われるためである。第2段落には、生徒に辞書を使うことに慣れるようにするため、普段から辞書を使わせることが述べられている。

最後の段落には、辞書指導は中学3年間を通して行われることが記されている。これらのことをまとめると、英語学習において辞書は不可欠であり、3年間を通して常に英語学習のために使用することが求められている。

しかし、中学校英語教科書における辞書指導の記述を調べてみると、教科書によって内容は異なっており、学習指導要領の要求と大きな差があることが分かる。第Ⅲ節と第Ⅳ節では、3社の中学校英語教科書における辞書指導の記述を検討比較する。

Ⅲ 辞書指導の有無と時期

本稿で検討する教科書は以下の通りである。全て初版は平成24年（調査した教科書の発行は平成26年）であるが、これは文部科学省による教科書検定が平成23年度に行われたためである。検定に合格しているのだから、学習指導要領の辞書指導に関する要求を満たしていると予想される。

- | | |
|----------|--|
| (2) 開隆堂 | Sunshine English Course 1
Sunshine English Course 2
Sunshine English Course 3 |
| (3) 三省堂 | New Crown 1 English Series
New Crown 2 English Series
New Crown 3 English Series |
| (4) 東京書籍 | New Horizon English Course 1
New Horizon English Course 2
New Horizon English Course 3 |

これらの教科書を調査した結果、辞書について記述があるか否かという点に関して、また、記述がある場合は指導する学年に関して大きな違いがあることが明らかとなった。それらをまとめると(5)のようになる。

- | | |
|-------------------------------|---|
| (5) Sunshine English Course 1 | 有 |
| Sunshine English Course 2 | 有 |
| Sunshine English Course 3 | 有 |
| New Crown 1 English Series | 無 |
| New Crown 2 English Series | 有 |

New Crown 3 English Series	無
New Horizon English Course 1	無
New Horizon English Course 2	有
New Horizon English Course 3	無

これから分かるように、辞書指導を教科書に基づいて行うとすれば、使用する教科書によって指導の学年と期間に差が生じることになる。さらに、それぞれの記述を検討してみると、内容においても明らかな差があることが判明する。

IV 内容の相違

1 Sunshine English Course

Sunshine English Course の優れた点は、英和辞典の記述の見本を載せており、これを基にして英和辞典の使い方と内容を説明していることである。当該ページを(6)-(8)に掲載した。これらから分かるように、英和辞典の引き方(中学1年生)、記述内容の説明(中学2年生)、句動詞の説明(中学3年生)と段階を踏まえて学習できる構成になっている。

(6) Sunshine English Course 1 (p. 23)

辞書を引いてみよう

★英語の辞書ではどんな順序で単語が並んでいるのでしょうか。

英和辞典がどのような構成になっているかを、bike を引く作業をとおして見てみましょう。

- ①辞書の文字のb(B)を辞書の欄にあるABCから探し、Bの範囲内のどこかのページを開きます。
- ②開いたまず阿(ページ)の左上と右上を見て、bの次の文字kととなっているページを探します。ここでは62ページと63ページにはbicycleからbirthdayまでの語があることがわかります。
- ③bikeはbの次ですが、どちらのページの単語もbの次はkになっていますので、8つ目の文字kを見ます。kはoの間にあるので、bikeはこの2ページのどこかにあることがわかります。

自分の辞書で
似たような語を
引いてみよう!

○ 次の単語は上の2ページの「前・中・後」のうち、どこにありますか。
 (1) brother (前・中・後) (2) bench (前・中・後) (3) big (前・中・後)

● やってみよう
 次の単語を引き、引いた単語には✓をつけましょう。全部終わったら、かかった時間を記録しましょう。
 program hello new student you
 (かかった時間: 分 秒)

twentythree 23

(7) Sunshine English Course 2 (p. 7)

辞書を読んでみよう

★英和辞典にはどんな内容が書いてあるでしょうか。

見出し語

light [laɪt] (名 光、電灯)

① 光
② 電灯
③ 色が明るい
④ 軽便に火をつける

発音 [laɪt] (名 光、電灯)

変形
The man gives us **light**.
Turn on (off) the **light(s)**.
Now the **light** is red.
The car was **light blue**.

① 電 (名 lights [saʊ]) ② 光、目の明か

変形
The man gives us **light**.
Turn on (off) the **light(s)**.
Now the **light** is red.
The car was **light blue**.

① 電 (名 light, 名 light) ② 明

変形
The room was **light and comfortable**.
The car was **light blue**.

① 電 (名 m lights [saʊ])、電が点く
lighting 電、電化(電気がついている)を指す
Light the candles.
Your bag is **light**. 荷物が軽い
Her face **lighted** up with joy.
電気が点き輝き顔を明るくさせた。

light bulb 電球
Light [laɪt] (名 光、電灯)

① 電 (名 light, 名 light) ② 電球が輝く
③ heavy 重い、むずかしい
④ 荷物の軽い、明るい
⑤ 色が明るい
⑥ 軽便に火をつける
⑦ 電気が点く
⑧ 顔を明るくさせる
⑨ 顔を輝かせる
⑩ 顔を輝かせる

英語では1つの単語が動詞として使われたり、名詞として使われたりします。また、1つの単語がいくつかの意味を持つことがしばしばあります。

●やってみよう

1. 辞書 次の語を辞書に出てくる語順に並べましょう。
(1) ① enjoy ② rock ③ last ④ very ⑤ see
(2) ① tea ② town ③ table ④ tennis ⑤ today
2. 下線部の単語について、意味の違いを調べましょう。
(1) These are Kyoto dishes.
(2) I washed a lot of dishes.
3. 下線部の単語について、意味の違いを調べましょう。
(1) Your watch is very nice.
(2) I watched a soccer game on TV.
4. 辞書を見て、次の単語を使った文を書きましょう。
(1) like (2) have

(8) Sunshine English Course 3 (p. 7)

辞書を使いこなそう

★次の英文の下線部はどんな意味か、英和辞典で調べましょう。

He got off the train at a station.

get

He got his phone recharged.
① 充電した

I got down in every page because
① 全ページにわたって寝た

My mom usually gets him to believe it.
① 母はいつも彼を信じさせる

The man got both interview questions.
① 両方の質問に答えた

She got me to go to the party.
① 彼女が私をパーティーに行かせる

The boys are getting bigger and longer.
① 男の子たちは大きくなり、長くなる

How did you get to know him?
① どうやって彼を知ったのか

When did your sister get married?
① 妹はいつ結婚したのか

She got down to work.
① 彼女は仕事に集中した

Are you getting along with your bar?
① 客との関係はうまくいっているか

He got at the train.
① 彼は電車に乗った

I got a big fish, but it got away.
① 大きな魚を釣ったが、逃げ去った

She got away with her suitcase.
① 彼女はスーツケースを持って逃げた

Let's get back to work.
① 仕事に戻りましょう

They got up and got back from Paris?
① パリから帰って来ましたか

He got down from the train.
① 彼は電車から降りた

Could you get the bus down?
① バスを降りてくれますか

They got at the station.
① 彼らは駅に着いた

get

We all got in his car.
① 私たちはみんな彼の車に乗った

How did he get into my house?
① どうやって私の家の中に入ったのか

He got off the train at the station.
① 彼は駅で電車から降りた

We got off the airplane at Naha.
① 私たちは那覇で飛行機から降りた

I got up and went to bed.
① 起きてベッドに入った

He got the mail from his boss.
① 上司からのメールを見た

I can't get this word to stick on.
① この単語が紙に貼れない

Get off your feet.
① 足から離れなさい

Let's get on with our work.
① 仕事を進めよう

He got out of the car.
① 彼は車から降りた

She got through the door.
① 彼女はドアを通り抜けた

Let's get on with our work.
① 仕事を進めよう

They got up and got back from Paris?
① パリから帰って来ましたか

He got down from the train.
① 彼は電車から降りた

Could you get the bus down?
① バスを降りてくれますか

They got at the station.
① 彼らは駅に着いた

2つ以上の単語が集まって、個々の語の意味を合わせたものとは別の意味を表すものを、熟語または成句と言います。このうち get up or get to のように(動詞+動詞/前置詞)によってできるものは一般に動詞と称され、英和辞典では動詞の意味や何文のあととまで示されています。その配列は動詞のあとと前置詞/前置詞のアルファベット順にしたがっています。

左の例では、getの自動詞の項(①)～⑩のあとに get across から始まる句動詞が並んでいて、get off は get into のあとに載っています。そこには(乗り物から)降りる(駅などを)降りる)と2つの意味が出ていますが、上の英文に合う意味は「降りる」なので、全体で「彼は駅で列車を降りた」となります。

●やってみよう

1. 次の英文の下線部の意味を調べましょう。
(1) We'll get to New York at ten.
(2) Kyoto got on the bus.
(3) I caught a big fish, but it got away.
2. 次の句動詞の意味を辞書で調べ、例文を読みましょう。
(1) turn on (2) come back
(3) go around (4) take off

しかし、問題と感じられる点もある。例えば、中学1年生で辞書を使って単語を見つけることができるようになったとしても、中学2年生にならないと、見つけた箇所になが載っているのかわからない。また、中学1年生でも句動詞を学ぶ機会があるのに、教科書では、中学3年生で初めて英和辞典と関連させて句動詞を学ぶという順序になっている。

2 New Crown 2 English Series

New Crown 2 English Series の優れた点は、(9) の引用から分かるように、英和辞典の使い方や記載してある情報について1ページにまとめていることである。

(9) New Crown 2 English Series (p. 139)

辞書の基本的な引き方と活用

① 辞書の基本的な引き方

① 次の文の **landed** の意味を辞書で調べよう。

㊦ Suddenly, a gull **landed** next to Zorba. (p.108)

② 次の点に注意して、単語を探そう。

[1] 単語はアルファベット順に並んでいます。

[2] **landed** は動詞の原形 **land** に -ed をつけて、過去形になっています。**landed** を辞書で調べるときには、-ed を取り、**動詞の原形 land** で探します。

A 見出し語
アルファベット順に並んでいます。
land で探します。

B 発音表記
C 品詞
略語で示してあります。
㊦ → 名詞, ㊦ → 動詞


D 意味

③ 見出し語 (**land**) が見つかったら、品詞を見よう。

見出し語の **land** の品詞には名詞と動詞とがあります。例文の **landed** は動詞ですので、動詞の解説を見ます。

④ 文全体の内容に合う意味を探し出そう。

例文では、主語が、空を飛ぶ **gull** [カモメ] ですから、「着陸する」という意味が文全体の内容に合います。**landed** の後ろの **next to** は「～の隣に」という意味です。したがって例文は、「突然、1羽のカモメがゾルバの隣に着陸した(降りた)」という意味になります。



② 辞書の活用

— 辞書を使って例文を探そう

次の例文のように give + A + B の形のもの辞書の例文から見つけ、下線を引こう。

I will **give** Koji a book. (p.66)

A **land** [lænd らん] 図

D ① (高に対して) 陸地。
[例文] After weeks at sea, the voyagers saw **land**.
海上での数週間のうちに航海者たちは陸地を見た。
→×a land, ×lands などとしない。

② (畑・敷地(む)としての) 土地。
• good **land** for crops 作物に適した土地
③ 国, 国土 (country).
• my native **land** 私の母国

by land 陸上を, 陸路を。 [例文] by sea (海路を), by air (空路を)。
• travel **by land** 陸路を旅する
④ 動 上陸する; 入港する; 着陸する; 着く。 **D**
• **land** at an airport 空港に着陸する
• **land** at Kobe 神戸に入港する
• The American astronauts succeeded in **landing on the moon**. 米国の宇宙飛行士たちが月に着陸することに成功した。

• give her advice 彼女に忠告を与える
• give it to him それを彼にやる →×give him it としない。
• Cows **give** us milk.
雌牛(めうし)は私たちに牛乳を与えてくれる。
• Give me your hand and I'll pull you up.
手をこちらに出してくれ、ひっぱり上げてやるよ。
• The man did not **give** his name.
その男は自分の名前を言わなかった。 →文字やことばなどで「名前を明かさなかった」という意味; say his name は「名前を口に出して言う」。
• Give me two tickets for the concert.
コンサートの切符を2枚ください。
• Give me your frank opinion.
私に君の率直な意見を聞かせてください。

しかし、辞書指導は中学2年生用の教科書にしか記載されていない。したがって、この教科書を使用した場合、学習指導要領が求めている「3年間を通じた活用」をどのようにして達成するのかわ明らかなではない。

— 190 —

3 New Horizon English Course 2

New Horizon English Course 2 の優れた点は、(10) から分かるように、辞書の使い方を Q&A という形式で載せていることである。学習者の立場からすると大変分かり易い。しかし、辞書については中学 2 年生用の教科書にしか記載されていないので、ここでも New Crown 2 English Series と同じ問題が生じる。また、(10) の引用から分かるように、英和辞典の使い方や記載してある情報については偏りがあり、また、説明の分量についても 1 ページにも満たない。

(10) New Horizon English Course 2 (p. 21)

学び方
コーナー
1

辞書の使い方

Q 英語の辞書を使うときのコツはありますか。

A 見出し語を速く見つけられるように、次のポイントに注意しましょう。

- 見出し語は漢文字から 2 文字め以降も全部、アルファベット順に並んでいます。
- ページの上に出てくる最初と最後の見出し語が示されているので、そのページに出てくる見出し語の範囲がわかります。
- 品詞を表す記号が示されています。

名=名詞 代=代名詞 動=動詞 形=形容詞
冠=冠詞 副=副詞 前=前置詞 など

■ 次のクロスワードパズルを、英和辞書や和英辞書を使って完成しましょう。二重のマス目に入ったアルファベットを並べると、ある単語ができます。

ACROSS →

- 「電車を乗りかえる」は ___ trains
- speak の過去形は？
- 「早起きの人」は early ___
- Becky は何という名前の女優？
- 「秋」は fall。またの名を？
- really (副詞) の形容詞形は？
- all right とほぼ同じ意味なのは？
- let's is let ___ の短縮形。

DOWN ↓

- happy (形容詞) の副詞形は？
- father は父親。より親しみをこめて呼ぶと？
- in (副詞) の反対語は？
- is は ___ の三人称単数現在形。
- is 前置の前で ___ となる。
- man の複数形は？
- 「位置について、用意、ドン！」は "On your ___, get set, go!" ことわざ「発砲のこと」は Time fl ___.

答え: D [] [] [] [] [] [] [] [] Y

twenty-one ◀ 21

V 大学生へのアンケート調査

宮崎公立大学・平成 28 年度後期の英語学概論の受講生に対して、11 月 7 日に辞書指導に関するアンケート調査を実施した。この授業科目は 2 年生開講科目で、かつ、教職の必修科目である。したがって、英語に対して関心が高い学生が多く受講している。回答総数は 63 であった。回答者の学年の内訳は (11) の通りである⁴。

(11) 回答者の学年と人数

4年生	4
3年生	6
2年生	53
合計	63

本稿に直接関係のある質問事項として、英語の辞書の使い方を習ったことがあるか否かという質問があり、これへの回答数は以下の通りであった。

(12) 学校の授業で習ったことがある。	20	(31.7%)
学校の授業ではないが、習ったことがある。	2	(3.2%)
自分で学んだ。	27	(42.9%)
習ったことはない。または、覚えていない。	13	(20.6%)
無回答	1	(1.6%)
合計	63	(100.0%)

(12)の「学校の授業で習ったことがある」と回答した20名の学生が、中学校、高校、大学のどの教育機関で習ったのか問う質問もあり、その内訳を(13)に記した。

(13) 中学校	7	(35.0%)
高校	11	(55.0%)
大学	2	(10.0%)
合計	20	(100.0%)

本稿で考察の対象としている中学英語教科書は平成24年の初版であるため、アンケートに回答した学生はこの教科書を使用していない。しかし、学校の授業で辞書指導を受けたと回答した学生が全体の3割ほどしかおらず、7割が学校での辞書指導を受けていないという結果は注目に値する。

また、「現在良く使っている英語の辞書が電子辞書である」と回答した学生45名のうち、10名(22.2%)が電子辞書の「使い方を知りたい、教えてほしいと感じることがよくある・時々ある」と回答している。これに対して、「現在良く使っている英語の辞書が紙の辞書である」と回答した学生は19名いたが、その中の9名(47.3%)が紙の辞書の「使い方を知りたい、教えてほしいと感じることがよくある・時々ある」と回答している。

通常、紙の辞書には「まえがき」等に続いて使い方の説明が必ず載っている。したがって、使い方を知りたいのであれば、その説明を読めばかなり理解が深まるはずである。約半数の大学生が使い方を知りたい、教えてほしいと感じているという結果から、辞書に使い方の説明が載って

いることすら周知されていないという実態が窺われる。

VI 提案

第Ⅲ節から第Ⅴ節までの調査で共通して明らかになったのは、辞書の使い方を学ぶ機会が不足しているということである。中学においては、使用する教科書に影響されず、持続的に辞書活用を学ぶためにはどのような手段が考えられるだろうか。また、中学を卒業した後も、辞書の使い方を知りたい、学びたいというとき、どのような手段が考えられるだろうか。具体的には英和辞典の辞書指導を前提として、本稿では、以下のような ICT を活用した辞書指導のための教材開発を提案する。

1 自由にアクセスできるサイトの開設

今後は学校教育の中で ICT がこれまで以上に活用されると期待される。そこで、インターネット上に自由にアクセスできる、辞書使用を学ぶためのサイトを開設することを提案する。

これによって、辞書の使い方を学ぶ時期に制限が無くなる。つまり、中学生であれ、大学生であれ、必要に応じて、また、段階に応じて自由に学ぶことが可能となる。これと同時に、使用する教科書の種類に影響されずに、同一の内容を学ぶことが可能となる。

実際には、既に英和辞典の使い方等について解説したネット記事が公開されており、また、動画配信サイト youtube 等でも英和辞典の使い方を説いた動画が公開されている。しかし、それらは主として文字情報であったり、個人の視聴者を対象としている動画である。ここで提案しているサイトは学校教育での使用を前提とした、補助教材である。

2 段階を踏まえたコンテンツ

コンテンツは 3 つに大別する。1 つは(主として中学生を想定した)初学者向けのコンテンツ(カテゴリー 1)である。これは英和辞典の基本を説くことが中心となる。もう 1 つは高校生から大学・社会人向けのコンテンツ(カテゴリー 2)である。こちらは英和辞典の活用法を説くことが中心である。これらのコンテンツは必要性や要望等に応じて定期的に修正する。具体例を以下に挙げる。

(14) カテゴリー 1 の例

- a. 英和辞典とは何か。
- b. 単語や熟語の探し方。
- c. 英和辞典には何が書いてあるのか。英和辞典で何が分かるのか。

- d. 中学英語教科書の巻末にある単語リストとはどう違うのか。
 - e. 英和辞典で発音は分かるのか。
- (15) カテゴリー2の例
- a. 紙の辞書と電子辞書の長所と短所について。
 - b. 英和辞典にはどんな工夫がされているのか。
 - c. 英和辞典とコーパス。
 - d. 英和辞典の例文。
 - e. 英和辞典で語源を調べる。

第3のカテゴリーは、出版されている英和辞典の特徴を説明したコンテンツである。この種のコンテンツの作成には出版社の協力が必要不可欠である。

3 動画による説明

全てのコンテンツは動画で配信する。また、授業での使用や個人での視聴が気軽にできるように、1つのトピック（例えば、(14a)の「英和辞典とは何か」など）については、数分程度に収める。

VII おわりに

本稿を締めくくるにあたって、課題について触れたい。第VI節で提案したように、辞書使用を学ぶためのサイトを開設した場合、学習者へのサイトの周知が本提案の成否を決める大きな要因になる。したがって、当該サイトを教師や生徒・学生へどのようにして周知するかが課題となる。

『英語教育』（大修館書店）などでの紹介も一案であるが、さらに教科書出版社と辞書出版社の協力が必要となる。例えば、中学英語教科書の出版社に対しては、教師向け指導書にサイトの紹介を載せてもらい、生徒に周知して頂くようよう要請することが必要になるだろう。また、辞書出版社には、辞書の箱に巻かれる帯や、辞書の適切な箇所にサイトの紹介を載せてもらい、積極的に活用するよう購入者に促すことが必要になる。

言うまでもなく、本提案を実現するには、様々な準備と検討が必要となる。本稿がその出発点になれば幸いである。

付 録

英語の辞書使用に関するアンケート

November 2016

学年（ ）

入学年 20____年 4月

1. 学校（公教育）で初めて英語を学び始めてから今年の10月まで何年何ヶ月になりましたか？ _____年____ヶ月
2. 私塾等を含めた場合、初めて英語を学び始めてから今年の10月まで何年何ヶ月になりますか？（質問1と同じ答えなら同じ答えを記入して下さい。） _____年____ヶ月
3. 現在良く使っている英語の辞書をあげるとすれば、次のどれですか？ 番号で答えて下さい（以下の質問も同じです）。 （ ）
①電子辞書の英和辞典 ②電子辞書の和英辞典 ③電子辞書の英英辞典
④紙の英和辞典 ⑤紙の和英辞典 ⑥紙の英英辞典
⑦その他の辞書（ ） ⑧使っていない
4. 質問3で答えて頂いた、現在良く使っている英語の辞書についてお尋ねします。その辞書の使い方を習ったことはありますか？ （ ）
①学校の授業で習ったことがある
②学校の授業ではないが、習ったことがある
③自分で学んだ。
④習ったことはない。または、覚えていない。
5. 質問4で「①学校の授業で習ったことがある」と答えた方にお尋ねします。学校とは次のどれになりますか？ （ ）
①小学校 ②中学校 ③高校 ④大学 ⑤その他（塾など）
6. 英語の辞書の使い方が分からず困ったと感じたことはありますか？ （ ）
①よくある ②時々ある ③あまりない ④全くない
7. 使い方を知りたい、教えて欲しいと感じることはありますか？ （ ）
①よくある ②時々ある ③あまりない ④全くない

注

¹ 本研究の出発点となったのは、英語教育における辞書引き学習に関心を抱いたことである。その切っ掛けを与えて下さった深谷圭助先生（中部大学現代教育学部准教授）と神永暁氏（小学館出版局）に感謝申し上げたい。なお、教科書の直接引用に関しては、一般社団法人教科書著

作権協会とイラストレーター・池田八恵子氏から許可を頂いている。

- ² 英和辞典によって使用しているコーパスは異なっている。しかし、どのようなコーパスを使用したのかという点については、辞書によって明示しているものもあれば、明示していないものもあり不統一である。例えば、『ユースプログレッシブ』(pp. 10-11)は紙面を割いて使用したコーパスについて解説している。
- ³ (1)は『中学校学習指導要領解説 外国語編』(平成20年9月25日発行)のpp. 49-50から引用した。
- ⁴ 使用したアンケート用紙は付録に掲載した。

参考文献

『中学校学習指導要領解説 外国語編』文部科学省、2008年(平成20年)。

英和辞典

『ウィズダム英和辞典』、三省堂、2003年(平成15年)。

『ユースプログレッシブ英和辞典』、小学館、2004年(平成16年)。

『レクシス英和辞典』旺文社、2003年(平成15年)。

雑誌

『英語教育』大修館書店。

教科書

『Sunshine English Course 1』開隆堂、2012年(平成24年)。

『Sunshine English Course 2』開隆堂、2012年(平成24年)。

『Sunshine English Course 3』開隆堂、2012年(平成24年)。

『New Crown 1 English Series』三省堂、2012年(平成24年)。

『New Crown 2 English Series』三省堂、2012年(平成24年)。

『New Crown 3 English Series』三省堂、2012年(平成24年)。

『New Horizon English Course 1』東京書籍、2012年(平成24年)。

『New Horizon English Course 2』東京書籍、2012年(平成24年)。

『New Horizon English Course 3』東京書籍、2012年(平成24年)。